

2025年12月25日
東海旅客鉄道株式会社
早稲田大学

データマーケティングを起点とした事業開発の产学連携について ～JR東海グループの商業施設データを活用し、学生が新たな価値創出に挑戦～

東海旅客鉄道株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：丹羽俊介、以下JR東海）、早稲田大学（所在地：東京都新宿区、総長：田中愛治）は、产学連携の一環として、早稲田大学グローバル・エデュケーション・センター設置科目「データビジネスクリエーションβ」において、JR東海グループの一部商業施設の売上データを活用した講義を2025年度秋学期に開始しましたのでお知らせします。

1. プログラムの概要

本講義では、早稲田大学の学生がJR東海グループの一部商業施設に関する、個人を特定できない統計データ（売上情報や来館者数など）をもとに、データの解析・AIの活用を通じて課題を発見し、新たな事業開発やマーケティング施策の提案を行います。学生は、データサイエンスやビジネス戦略の知見を活用しながら、社会の実際のデータに即して課題の発見・解決に取り組むことで、実践的なスキルと構想力を養います。JR東海としても、本科目を通じて、次世代を担う人材との共創によるイノベーション創出を期待しています。

＜講義概要＞

- ・講義名：データビジネスクリエーションβ
- ・期間：2025年11月24日（月）～2026年1月26日（月）
- ・内容：学生がJR東海グループの売上データを分析し、ビジネスで求められる仮説設定やデータ分析を通じた課題発見、その解決策となる新規事業提案等を行う。

＜講義スケジュール＞

JR東海グループの事業理解やデータ分析手法のレクチャーを経て、2026年1月から、学生による売上データ分析と施策提案検討を開始。

2. プログラムの今後の展開

本講義終盤には、JR東海社員に対する新規事業提案の機会を設けます。JR東海は、学生による提案を今後の事業検討に活かしていきます。今後も両者は、共創による新たな価値創出を目指し、产学連携の取り組みを深化させてまいります。



取組みのイメージ